

# 令和5年度学校自己評価システムシート (県立所沢中央高等学校)

目指す学校像	「授業」「学校行事」「部活動」をとおして人間力を高め、夢を実現させる学校
--------	--------------------------------------

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

重点目標	1. 規律ある態度と主体的に行動する姿勢を養う 2. 自ら学び考える環境を整え、希望の進路の実現を図る 3. 地域との連携をとおり、社会に貢献する人材を育成する
------	--

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

出席者	学校関係者 生徒 事務局(教職員)	名 名 名
-----	-------------------------	-------------

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。  
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価								学 校 関 係 者 評 価	
年 度 目 標					年 度 評 価 ( 月 日 現 在 )			実 施 日 令 和 年 月 日	
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策	学校関係者からの意見・要望・評価等	
1	○『挨拶をしよう・時間を守ろう・ルールを守ろう』を基本方針とし、全職員の共通認識・共通理解・共通実践を心がけているが、徹底すべき点もあり、継続した努力が求められる。	○基本的な生活習慣を身につけさせるとともに、規範意識及びマナーを向上させる。	①各学年の生徒指導部を中心に、学年内および学年間での情報共有を密にする。併せて、全教職員で統一した指導を組織的に行っていく。  ②必要に応じて外部機関との連携を図り、迅速かつ的確に対応する。	①現代の社会情勢に応じて、指導内容をおよび学年間での情報共有を密にする。併せて、全教職員で組織的に進められたか。  ②地域の方々等、学校外部の方の意見を真摯且つ適切に受け止め、良好な関係を築きながら対応できたか。					
	○新型コロナウイルスによる制限が緩和された。コロナ禍前の行事形態にできるだけ近づけ、本来の教育活動を実践したい。	○引き続き感染症防止対策に留意しながら行事を企画し、きめ細かな運営を心がける。  ○行事に対する意識・関心を高めさせ、主体的に参加させる。	①過去の記録を活用し、課題と改善点を的確に把握して、生徒会を中心に全校生徒で共有する。  ②生徒会本部と各委員会が連携して情報を発信し、全校生徒の主体的な参加を促す。	①現状に対応しつつ、過去の課題や問題点を改善し、よりよい企画運営ができたか。  ②各行事において、生徒が達成感・満足感を持つことができたか。					
2	○学習環境を整える前提として、十分な授業時間を確保したい。  ○自己の進路について早期から意識させる取り組みを行っているが、主体的に自らの進路を決定したり、その進路の実現のために努力し、行動したりする力が不十分である。	○行事を充実させるとともに授業時間を十分に確保する。  ○民間の業者や保護者など多方面と連携して積極性・自主性を促す進路活動を充実させる。これにより、生徒の進路意識をさらに高め、実際に行動させる。	①授業と行事について、バランスの取れた年間行事計画を作成し、学期ごとの実情に合わせて日程の調整を行う。  ②KGSや実力テストなどを活用した学習支援をとおり、基礎学力の定着及び向上を図る。  ③個別の学習等の支援を特に力を入れて行う。また、進路指導ボランティアも活用していく。  ④各分野や進路毎の説明会を実施し、分野などの現状や本校の生徒の実態に合わせて指導する。	①各教科が授業時間の観点から充実した授業が行えたか。  ②学習指導を継続して行えたか。また、実力テストの結果をそれ以降の指導や進路実現に反映できたか。  ③生徒のニーズを把握し個別最適な支援ができたか。また、進路指導ボランティアを効果的に活用できたか。  ④説明会を適切な時期、内容で実施できたか。					
	○美化委員会を中心とする美化活動は、主体的かつ計画的に運営されている。今後も校内の美化・緑化活動を中心に、生徒が主体的に生活環境を整備する意識を向上させていく。  ○授業や放課後の図書館利用の機会が増えている。これに応える資料の準備と生徒の読書意欲の向上や教科学習・進路に役立つ蔵書づくりを進め、さらなる利用者の増加を目指す。	○感染防止対策等、衛生面を考慮した上での美化活動を生徒に意識づける。  ○主体的に美化・緑化に関わる意識を向上させる。  ○館内資料の充実をはかり、読書意欲向上と学習に役立つ環境を整える。	①除草作業を含めた春秋の植栽活動を、美化委員会を中心に計画的に実施する。  ②美化委員会をとおり、ゴミの分別、食べ・飲み歩き禁止をポスター掲示等で呼びかけていく。  ③適切な選書と除籍を行いつつ、選書についてはアンケート等で利用者の声を反映させる。	①効率のよい植栽活動のために適切な準備をし、積極的に参加できたか。  ②感染防止等のために、ゴミの分別処理等の美化活動が適切に運営できたか。  ③利用者・授業者の希望に応える資料の用意や選書ができたか。					
3	○学校説明会やホームページをとおり、本校の特徴や行事の魅力を伝えたい。  ○地域、保護者の評価は高く、強く支持されている。要望に応えながらさらに協力関係を深めていきたい。	○本校の教育活動についての発信をする。  ○社会のニーズに合わせて、保護者や地域に情報を伝達していく。	①教職員全体で情報発信するしくみを構築する。  ②インターネットやメールを活用し、保護者や地域に必要な情報を発信する。	①年間を通じて、ホームページに新情報をアップできたか。  ②社会のニーズに応じた情報伝達ができたか。					